

連携中枢都市圏ビジョン懇談会での発言要旨及び考え方（案）

資料 3-3

区分	番号	発言要旨	該当	考え方
修正提案	1	鳥取・因幡観光ネットワーク協議会はDMOに修正すべき。	P54	「鳥取・因幡観光ネットワーク協議会」を地域連携DMO「一般社団法人麒麟のまち観光局」に変更します。
	2	高齢社会に対する事項が入っていない。大きな課題。健康寿命の延伸等の観点で高齢社会についても盛り込んで頂きたい。高齢者を元気であれば元気な地域に繋がる。仕事を退職した方の移住にもつながる可能性がある。高齢者が住みやすいまちは、みんながすみやすい社会である。	P75	「高齢社会」に関することを追記します。
連携事業の提案	3	インバウンドに的確に対応していただきたい。境港に海外客船が入るが、松江・米子方面に分散している。境港への観光客を東部に呼ぶために、米子―鳥取を結ぶ航空路線を検討してはどうか。	P57	県西部からの誘客を総合的に検討します。航空路線は、現実的に難しいと考えます。山陰道の整備が進んでいるので、引き続き、整備を進めます。
連携事業に関する意見	4	多方面にわたり網羅してある。連携事業の実施に当たっては、地域商社やDMOとの連携が必要。併せて、県とも連携してPDCAサイクルを回してほしい。	P53	地域商社、DMO、県など関係機関と連携して取り組みます。
	5	雇用の人材不足に関してはミスマッチがあるのでは。年代によって価値観が違うので、あらゆる属性に対応してほしい。	P58	ミスマッチの解消も考慮しながら事業に取り組みます。
	6	1市4町地域内外で起業・創業支援に取り組んでいるところ。近年、事業承継が問題となっているので取組にご協力をいただきたい。	P60	事業継承が課題であることは認識していますが、今後の検討課題とします。
	7	ビジョンは問題ない。パブリックコメントにもあるが人材不足に対しては、所得が伴うことが重要。儲かる取組を連携事業で展開していただきたい。	P60	所得について、地域商社等で販路拡大に努め所得の向上を図ります。
	8	ビジョンはよい。ビジョンの中で伸びしろがあるのは「地域商社」と「移住」。移住について、空き家の取組はとても良い。移住者にとってハローワークに載っていない情報も魅力的。連携して情報の共有をすればいいと思う。	P60・93	移住促進について、情報交換・共有しながら進めます。
	9	連携事業にしっかりと取り組んでいただきたい。農業振興において、耕作放棄地が増加している。それぞれの市町に住み続けることが耕作放棄地を作らないことに繋がる。定住の取組をお願いしたい。	P64	農地確保についてビジョンにはありませんが、それぞれの市町で取り組んでいます。定住にも引き続き取り組んでいきます。

区分	番号	発言要旨	該当	考え方
連携事業に関する意見	10	DMOは点ではなく線で結ぶことが大事。新温泉町民は病院・買い物・仕事等、生活圏は鳥取県。人材不足であれば、新温泉町にも情報提供してほしい。そうすれば定住が促進させれる。	P66	但馬定住自立圏でも企業説明を実施しています。連携中枢都市圏でも引き続き取り組みます。
	11	但馬・浜坂など名所があるが観光バスが不足している。市町で観光をアピールしてほしい。漁業の乗組員が減る中、ばばちゃん鍋が有名なのもっと宣伝してほしい。	P89	鳥取・但馬間ゆめぐりバス運行を事業に入れていますので、引き続き、強化して取り組みます。 ばばちゃん鍋は、今後も、関西圏等でのPRに取り組みます。
	12	婚活において、結婚する同士ではなく両親が話をする場面があってもよいのではないかと。多地域で成果があるようである。	P92	事業の参考とします。
協力提案	13	連携事業をいかに情報発信するかが大切。ケーブルテレビには連盟組織がある。コンテンツを全社で持ち寄ってネットワークで発信できる。サポート協力を検討している。	-	
	14	地域商社、DMOで県境を越える連携でかかわっていききたい。	P53	
	15	建築・製造業でも人手不足。会議所においても、新たな事業、生活基盤になる産業、雇用の場の創出に取り組みたい。	P58	
	16	地域商社では、大阪で商談会を開催し素材のアピールを実施した。連携して商品発信をして産業に繋げていきたい。	P60	
	17	水産業振興として、青谷・夏泊の定置網が3年目。朝市を含めて地元組合も活性化している。魚を学校の給食事業の連携している。漁業のアピールする場をつくる。鳥取市・岩美町の漁獲量は大きいですが、未利用資源はまだある。資源の発掘・食育・地産地消に取り組む。	P62	
	18	先週、地域連携DMO「麒麟のまち観光局」が設立した。観光客入込客数830万人の目標を達成したいので御協力をお願いする。	P66	

区分	番号	発言要旨	該当	考え方
協力提案	19	観光振興や地域交通について、1つずつの事業は問題ない。現在、城崎を中心にDMOをやっている。本圏域のDMOと連携してもいいのかも知れない。インバウンドなど観光誘客・施策など1つだけだとどうまくいかない。様々な事業を連携して取り組みたい。	P66・67 P89・90	
	20	「因幡・北但西部周遊バス運行支援事業」、「浦富海岸・鳥取砂丘エリア観光二次交通運行協議会支援事業」にかかわっている。今後も連携事業を一緒になって考えていきたい。	P67	
	21	ドクターカーについては、東部広域との連携が必要である。どのような形が望ましいのか一緒に研究したい。	P73	
	22	ビジョンに関する指摘はない。ネットワークにより交通の連携を図れるよう役割を果たしていきたい。	P90	
	23	人口減少・高齢化の中、I T C等お手伝いできることや実現が早まることもあるかも知れない。	P91	